



## 大学・附属幼稚園連携における『木育』の教育実践・普及

島根大学名誉教授 山下 晃功  
 島根大学教育学部附属幼稚園副園長 太田 泉  
 島根大学総合理工学部教授 細田 智久  
 島根大学総合理工学部准教授 小林 久高  
 島根大学総合理工学部助教 三島 幸子

教育学部附属幼稚園では、「木音の部屋プロジェクト」と称して、「木音の部屋（もねのへや）」と名付けたアクティビティ・スペースを島根県の木育の拠点として位置づけ、就学前教育や地域連携、産学連携に活用しています。

大学と附属幼稚園の連携として、檜の箸をカンナで削り出す「檜箸作り」や、シンプルな立方体積木7,000本で行う「カラ木ー遊び」などの木育アクティビティを、幼児教育で育まれる資質・能力から分析的に効果測定をしています。また、部屋の設計や、屋外の「ツリーハウス」の設計を、総合理工学部建築デザイン学科の学生・教員及び設計事務所・建築会社と共同して開発し、効果測定を実施しています。

このように、大学と附属幼稚園が連携し、「ものづくり」を核とする木育アクティビティの開発・実践検証を行い、県内の幼児教育施設へアクティビティや木製玩具の貸出・普及を行っています。

この取組が評価され、「木音の部屋プロジェクト」は「ウッドデザイン賞2019」を受賞しました。

